



2025 年 11 月 26 日

各 位

会社名 株式会社 八十二銀行
代表者名 取締役頭取 松 下 正 樹
(コード番号8359 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員企画部長 木 村 岳 彦
(T E L. 026-227-1182)

八十二グループの「経営理念」および「中期経営計画の方向性」について

株式会社八十二銀行（取締役頭取：松下 正樹、以下「当行」）および完全子会社である株式会社長野銀行（取締役頭取：西澤 仁志、以下「長野銀行」）は、関係当局の許認可取得を前提として、2026 年 1 月 1 日に合併を予定しております。

このたび、合併後の新銀行である株式会社八十二長野銀行（以下「八十二長野銀行」）を中核とする「八十二グループ」の経営理念を策定いたしました。また、中期経営計画の方向性についてお知らせいたします。

記

1. 八十二グループ 経営理念

これまで当行と長野銀行の両行が培ってきた“DNA”に加え、両行の経営理念に込められた“想い”も継承し、新銀行「八十二長野銀行」を中核とする八十二グループが果たすべき使命、存在する意義として「八十二グループ 経営理念」を策定いたしました。

健全経営を堅持し、もって地域社会の発展に寄与する

八十二グループは、地域におけるリーディングカンパニーとして、地域の課題に真正面から向き合い、地域社会と世界をつなぐ架け橋となり、地域の持続的な成長を実現します。また、適切なリスク管理に裏付けられた収益性の確立と盤石な財務基盤の維持発展を通じて、地域社会、お客さま、株主さま、従業員の幸福と繁栄に貢献します。

2. 八十二グループ マテリアリティ

当行では、2022 年に 12 項目のマテリアリティを特定し、各課題の解決に向けた取り組みを進めてまいりました。新銀行発足を契機としてグループ経営のさらなる深化を進めていくにあたり、八十二グループにおける企業価値および社会・ステークホルダーにおける重要度を改めて検証し、「グループ マテリアリティ」として特定いたしました。

- ・ デジタル化と A I を活用した価値創造
- ・ 地域産業・企業の発展と活気ある街づくり
- ・ 豊かな暮らしの実現
- ・ 人的資本経営の実践
- ・ 気候変動対策と環境保全
- ・ サイバーセキュリティの強化
- ・ 公正で透明な経営

3. 八十二グループ 長期ビジョン

10年後の地域社会を見据え、地域に関わる企業や人々とともに希望を創り出していこうという想いを込めて、「八十二グループ 長期ビジョン 2035」を策定いたしました。

長期ビジョン 2035 「魅力ある未来を地域と共に創る」

4. 八十二グループ 第1次中期経営計画の方向性

長期ビジョン 2035の実現に向けた10年間で3期に分け、その最初の3ヵ年を第1次中期経営計画として検討しております。本計画における方向性をお知らせいたします。

第1次中期経営計画 「総合コンサルティンググループへの飛躍」

テーマ1： 収益力の強化・拡大を通じた地域課題解決

地域の中核的存在への成長を志向する企業への機能提供、企業の生産性向上支援、観光地の魅力向上の支援などを通じて、地域経済への波及効果を創出します。

また、個人のお客さまのライフステージに寄り添い、豊かな生活の実現を支援するとともに、誰もが暮らしやすく、持続可能で価値のある地域づくりに貢献します。

これらの取組みを加速させるため、市場運用ビジネスによる安定的な収益確保と、成長分野への積極的な投資を推進します。

テーマ2： 持続的な成長を支える人的資本の強化

中期経営計画の遂行に向けて、変革を担う人材の育成・採用を進めるとともに、多様な職員の活躍促進や、職員のウェルビーイングの実現に取り組みます。

テーマ3： DXとAI投資を通じた競争優位性の確保

DXおよびAIへの投資により、組織の生産性と創造性を飛躍的に向上させ、競争力の強化を図ります。

テーマ4： 企業価値向上を目指したビジネス領域の拡大

グループ機能の全体最適化と企画力の向上を通じて、ビジネス領域の拡大を推進します。

テーマ5： 信用と信頼の礎となる経営基盤の強化

経営基盤の強化を通じて、さらなる企業価値の向上を目指します。

なお、中期経営計画の各種戦略、具体的な施策およびKPIについては、決定し次第、改めてお知らせいたします。

以 上

本件に関するお問合せ先
企画部（IR・広報室）向山
026-224-5512

「八十二グループ」 経営理念体系

- 「八十二の礎」は、八十二グループの経営理念体系を指します
- 存在意義・ありたい姿・行動の基盤となる考え方を総称した“思考の土台”です
- 「八十二の礎」が“八十二グループらしさ”をかたちづくれます



PURPOSE/MISSION【存在意義・使命】

経営理念

健全経営を堅持し、もって地域社会の発展に寄与する

八十二グループは、地域におけるリーディングカンパニーとして、地域の課題に真正面から向き合い、地域社会と世界をつなぐ架け橋となり、地域の持続的な成長を実現します。また、適切なリスク管理に裏付けられた収益性の確立と盤石な財務基盤の維持発展を通じて、地域社会・お客さま・株主さま・従業員の幸福と繁栄に貢献します。

VISION【ありたい姿】

長期ビジョン2035

魅力ある未来を地域と共に創る

魅力	未来	地域	共に	創る
期待や誇りを生み出す価値や可能性を持ち、人々を惹きつける力	より良い社会を築くための希望や挑戦の象徴、方向性	単なる地理的な場所を指すだけでなく、人・文化・産業・歴史・つながりなどを含んだ、共同体としての存在	対等な立場で価値観を共有し、信頼と共感に基づいた主体的な協働の姿勢	新しい価値や仕組みを生み出す能動的で強い意志

VALUE【価値観・行動指針】

長期人事方針—求められる人材像

「強みの確立」「進取の精神」「自ら考え行動する」

コンプライアンス宣言

「信頼に値する経営と業務遂行」「よき社会人としての行動」

「八十二グループ」 マテリアリティ

- 2022年に八十二銀行単体として特定したマテリアリティを見直しました
- 八十二グループ全体で取り組むべき重点課題(マテリアリティ)を特定しました

デジタル化とAIを活用した価値創造

地域産業・企業の発展と活気ある街づくり

豊かな暮らしの実現

人的資本経営の実践

気候変動対策と環境保全

サイバーセキュリティの強化

公正で透明な経営

| 八十二グループ | 長期ビジョン/中期経営計画(方向性)

—10年後にありたい姿として「長期ビジョン2035」を定め、3期に分けた最初の3か年の取組みを明確化するため、第1次中期経営計画を検討しています

長期ビジョン2035

魅力ある未来を地域と共に創る

八十二グループが、地域に関わる企業や人々と一緒になり、主体的かつ新たな取組みによって「地域に希望を創り出していこう」という想いを「長期ビジョン2035」に込めました。

第3次 中期経営計画〈2032.4～2036.3〉

- 世界を展望し、金融の枠を超えて事業領域を拡大させる
- 圧倒的存在感を背景に地域の環境、産業、暮らしなどの生活基盤を総合的に支え、地域の未来を共に創るグループとなる

第2次 中期経営計画〈2029.4～2032.3〉

グループの活動領域を一段と広げ、海外展開を含めた企業の成長支援と個人のお客さまのライフスタイルの充実を通じて、地域経済の拡大に貢献する

第1次 中期経営計画〈2026.4～2029.3〉《総合コンサルティンググループへの飛躍》

総合コンサルティンググループに進化し、お客さまに質の高い機能提供を行う

- AI活用を基礎とした職員の成長と、DXによる組織の進化を加速する
- 高付加価値のコンサルティング提案により地域企業の強靱化を支援する
- グループ機能を最適化し、グループ一丸となって顧客価値の最大化を目指す

「総合コンサルティンググループ」への飛躍を目指し、5つの戦略テーマに取り組みます

テーマ1 ▶ 収益力の強化・拡大を通じた地域課題解決

テーマ2 ▶ 持続的な成長を支える人的資本の強化

テーマ3 ▶ DXとAI投資を通じた競争優位性の確保

テーマ4 ▶ 企業価値向上を目指したビジネス領域の拡大

テーマ5 ▶ 信用と信頼の礎となる経営基盤の強化

● KPI目標〈2029年3月期〉

● 財務

連結ROE

8.0%以上

● 環境

温室効果ガス(CO₂)排出量(スコープ1,2)

〈2030年〉(前倒し達成)

2019年度比80%削減

サステナブルファイナンス実行額

〈2030年〉(前倒し達成)

1.5兆円(うち環境分野1兆円)

● 社会

地域(長野県)人口の社会増

“社会増”の継続